

会社 探訪

サイバースタイル(東京都、片岡和彦社長)は、BIMデータ作成事業に乗り出した。エクステリア業界に特化し、CAD図面の代行事業やソフトウェア開発を手掛けてきた実績を生かし、BIMに新たな商機を見いだしている。

将来的に日本の労働人口の減少が見込まれるなか、若年労働者の確保が大きな課題となっている。建設業界もBIMだ。BIM

BIMで業容拡大、新たな軸に

サイバースタイル(東京)

外構3次元CAD技術生かす



片岡 社長

は、ビルディング・インフォメーション・モデリングの略で、情報駆使し、3次元の建築物を形作っていくという考えだ。

BIMを活用することで生産性を向上させる。CAD図面の代行作成事業やウェブカタログの開発、ソフトウェア開発などを手掛けている。

大手住宅会社の外構工事を請け負う工事店のCAD図面の代行作成事業やウェブカタログの開発、ソフトウェア開発などを手掛けている。11年には3次元CADデータ作成事業を強化するため、中国・大連の企業と提携。

せ、限られた人員で効率的に業務を進めることが期待されている。

同社は、BIMを新たな事業軸として見いだした。同社の設立は2002年。創設者の片岡社長は、三協立山のエクステリア事業部

はBIMなのではない

大手住宅会社の外構工事を請け負う工事店のCAD図面の代行作成事業やウェブカタログの開発、ソフトウェア開発などを手掛けている。

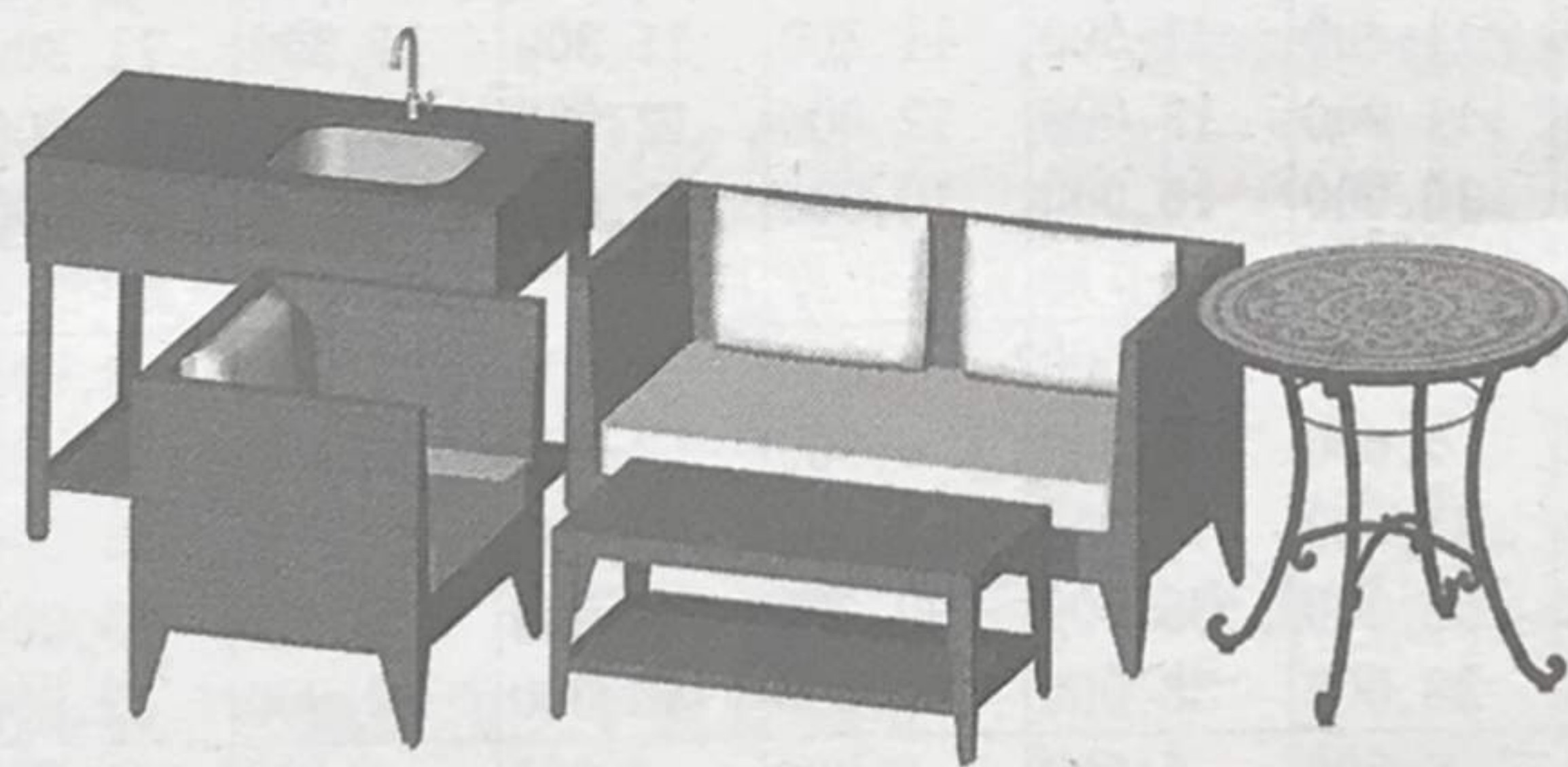
11年には3次元CADデータ作成事業を強化するため、中国・大連の企業と提携。

現在、30社余りの取引先を抱え、月間150棟水準の3次元CADデータ作成を手掛けている。一方、「自分が作成しているデータは、実報も活用している。B

かと気付いた」という。

同社は、見積もりと利益率が分かる「外構リプラス」を展開している。現在、顧客はエクステリア業界だけでなく、内装業界にまで広

がっている。「エクステリアには複雑な形状の商品が多い。こうした商品の素材感やデザインを3次元CADで忠実に再現してきた実績が生かされている」と事務機器などインテリタデータの作成で評価を得ている。



データ作成にはモデリング力が重要になる

IMとの共通点が多かった。契機は、アーキヤドを販売するグラフィソフトが海外で主催したBIM会議だ。「ここでBIMの流れを予感した」という。

14年には、アーキヤドと連携する3次元データ作成事業の1手掛り開始、12年前からはBIMデータの作成事業を始め、作成実績は1500点以上に上る。現在、顧客はエクステリア業界だけでなく、内装業界にまで広がっている。「エクステリアには複雑な形状の商品が多い。こうした商品の素材感やデザインを3次元CADで忠実に再現してきた実績が生かされている」と事務機器などインテリタデータの作成で評価を得ている。

「いいものは加速していけばいい。BIM普及の力になっていければ」と、日本でのBIM普及に期待を寄せている。

メモ ▼サイバースタイル|東京都足立区綾瀬3-15-1 E.ANNE X 3階。電話03・5856・0371。